

令和2年6月定例会一般質問

No.1		
3 番	井 上 聡 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 新型コロナウイルス対策について	1) 対策本部の立ち上げや特別定額給付金支給は、なぜ速い対応がとれたのか伺いたい。 2) 三春町独自の追加給付事業があれば伺いたい。 3) 三春町が作成した、新型コロナウイルス対策の「かわら版」を県でもホームページに掲載した。作成までの経緯を伺いたい。	

令和2年6月定例会一般質問

No. 2		
4 番	新 田 信 二 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 新型コロナウイルス感染症に関する支援制度について	<p>町では緊急的に支援事業を行っていますが、現在までの支援に対する中間結果で2点について伺います。</p> <p>1) 町民の生活に対する支援事業 (1-2)</p> <p>2) 地域の経済活動等の支援事業 (1-3)</p> <p>(町、県、国の給付金等の申請件数含む)</p>	
2 新型コロナウイルス感染症対策に伴う小中学校の臨時休業措置に対する問題と課題について	<p>4月7日に政府の緊急事態宣言が発令され、その後多くの地方自治体が自主的に臨時休業措置をとりました。</p> <p>4月10日時点では、小中学校の67%が休業となっています。</p> <p>三春町として県の教育委員会から要請を受けての臨時休業を決定したことと思います。</p> <p>そのことで、子供たち、児童クラブ、父兄の方々、教職員の方々等を含めたこれまでの問題点、課題点を伺います。</p>	

令和2年6月定例会一般質問

No. 3		備 考
1 番	本 田 忠 良 議 員	
質問事項	質 問 要 旨	
1 災害時における避難所、他について	1) 昨年10月の台風19号における復旧工事の最新の進捗状況について。 2) 災害時における避難所の緊急食料品、寒さ対策はどのようなになっているか。 3) 犬、猫などは現在、大切な家族の一員である。一緒に避難所に入ることができないことに対し、町は今後どのように対処していく所存なのか。 4) 新型コロナウイルスの第2次、第3次感染が発生した場合、避難所の対応はどのように考えているか。 5) 防災倉庫には、現在どのような防災関連用具が準備されているのか。	
2 明德大学、舞鶴大学について	1) 現在、明德大学、舞鶴大学には何名の方が在籍しているのか。また、平均年齢及び最高齢者は何歳なのか。 2) 明德大学は2年で卒業、舞鶴大学に卒業はないとのことであるが、その考えとする所は何か。 3) 明德大学を卒業して、さらに向上心のため舞鶴大学に入学したいが、入学できない方がいると聞くが、どのような理由なのか。また、そのような町民に対し、今後どのように対処していくのか町の考えをお聞かせ願いたい。 4) 舞鶴大学に入学できない方が、郡山市のあさかの学園大学に入学していると聞くが、町としてこの事態をどのように考えるのか。また、今後の対策をお聞かせ願いたい。	

令和2年6月定例会一般質問

No.4		
10番	篠崎 聡 議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 休校と入学時期について	<p>新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大によって今年から学校の入学時期を考えるべきという声が一時、聞こえました。</p> <p>当町では入園、入学時期についてどのように考えているかお伺いいたします。</p> <p>1) 感染が拡大した地域などを中心に、新年度の入学時期を教育格差やグローバル的に9月にするべきだという意見がありましたが、国は令和3年度について見送りました。9月入学について当町ではどのように考えていますか。</p> <p>2) 当町では、感染症拡大防止のため幼稚園、小学校、中学校を春休みと土日を含まずに17日間休校にしたということですが、4月入学をしている当町は、授業時間確保のために小中学校の夏休み、冬休みの短縮、1日の授業時間延長などが必要と思いますが、どのように考えていますか。</p> <p>3) 保育園、幼稚園は登園自粛要請したものの通常通り開園、児童クラブなどは早い時間から開館していました。しかし、幼小中は休校ということで保護者には大きな負担がかかりました。当町では、国の方針の全面休校ではなく学級閉鎖、学校閉鎖のレベルで良かったような気がしますかどうか。</p>	
2 対策本部の対応について	<p>1) 新型コロナウイルス感染症の第1波が落ち着いて全国的な緊急事態宣言も解除されました。町の対策本部はいつ警戒対応本部になりますか。</p> <p>2) 新型コロナウイルス感染症の第2波、3波発生が県内(町内)で確認されたときの町独自の対策、対応があればお聞かせ願います。</p>	

令和2年6月定例会一般質問

No.5		
12番	橋本善一郎 議員	備考
質問事項	質問要旨	
1 農業共済収入保険の助成について	<p>新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除され、経済活動が再開される中、いまだに世界的には終息の兆しが見えていません。自給率の少ない日本において、食糧危機は起こらないのか危惧された方も多いと思います。世界的経済封鎖が続く中、輸入に依存する日本において、食糧の自給がいかに重要か改めて認識されたと思います。</p> <p>しかし、農業の働き手は高齢化し、後継者不足の問題を抱え、気象災害、市場価格に左右されるなど、安定した経営が求められています。</p> <p>規模拡大、新規就農するなどのリスクを背負うとき、国でも収入補償の共済制度活用を推進しています。県内の一部市町村においても、収入補償の共済掛金の一部を助成、負担し、推進しています。</p> <p>三春町においてもこの共済の一部助成措置を講ずる考えがあるか伺います。</p>	
2 新型コロナウイルスの影響により収入が落ち込んだ農家に助成を	<p>新型コロナウイルス関連ですが、学校が休校するなど、生鮮野菜、飲食店休業の影響により、和牛の価格が下落し、町内農家にも収入が大きく落ち込み、苦慮している方もいると思います。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により収入が大きく落ち込んだ農家に助成する考えがあるか伺います。</p>	
3 小中学生にタブレット端末配備が予算計上された経緯と、今後、タブレット端末をどのように活用するのか	<p>1) 在宅勤務が推奨され、テレワークといった働き方改革が求められる中、第4次産業革命とさえ言われる今日、教育の現場においてもその変革に対応する必要性があると思います。今回、タブレット端末が小中学生に配備される予算が計上された経緯を伺います。</p> <p>2) 新型コロナウイルスの第2波、第3波が想定される中、教育現場で今後どのように活用していくのか伺います。</p>	